

TBグループ 会社概要 & 成長戦略



6775 東証2部
株式会社TBグループ

＜お問合せ先＞

経営管理本部 本部長 信岡 孝一
〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-6
Tel ; 03-5684-2321(代) Fax ; 03-5684-2320

2019年11月

1. 経営理念と社名の由来、2019年度経営スローガン

＜経営理念＞

喜んでもらう喜び 己も喜びたい (FOR YOU)

＜社名 TBの由来＞

①トレンドビジネス(TB)を目指します。

時流の「環境」「健康」「観光」のグッド3K市場でニッチトップシェアをとる事業を行います。

②トータルワンストップビジネス(TB)を目指します。

メーカーからソリューションビジネスまで、ワンストップで顧客満足の高いビジネスを行います。

＜2019年度 経営スローガン＞

令和 今からここから NEWステージへ！

2. 会社概要

会 社 名	株式会社TBグループ
代 表 者	村田 三郎
設 立	1946年11月6日
本社所在地	東京都文京区本郷3-26-6
資 本 金	40億円
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第2部(証券コード6775)
従 業 員 数	連結148名、単体62名
事 業 内 容	①LEDサイネージ&ソリューション事業 ②レジスター・POS・フィンテック機器メーカー ③インバウンド・ホテル「スマテレ®」事業 ④まゆ玉カプセルホテル事業 ⑤スマートヘルスケア事業 ⑥ドライブレコーダー、テレマティクス事業

3. 強みは、技術・商品開発力...普及率ゼロ・業界初(PAT保有)の歴史

創業~1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年以降	今後の成長戦略
・コンピュータ発明 ・トランジスタ発明 ・LED発明 ・マイコン/PC誕生	・家庭用VTR発売 ・3D映像第2次ブーム	・携帯電話誕生 ・マルチメディア元年 ・Webブラウザ登場 ・インターネット元年	・プラズマTV登場 ・デジカメ登場 ・iMac/iPod登場 ・DVDレコーダ登場	・iPhone/iPad登場 ・掃除ロボット・ルンバ登場 ・ブルーレイ登場	今後の成長戦略



4. グループ編成

(株)TBグループ

<http://www.tb-group.co.jp>

(子会社グループ)

(関連会社グループ)

(株)TOWA

「TOWA」ブランド
販売事業会社
資本金1億円

(株)Mビジュアル

インバウンド事業/
ホテルVOD事業会社
資本金6000万円

MAYUDAMA(株)

まゆ玉事業会社
資本金4000万円

(株)ホスピタル
ネット

病院システム事業会社
資本金5.49億円

(株)エムモビリティ

ドライブレコーダー関連
事業会社
資本金2.98億円

5. TBグループの主要人脈

安藤 国威(あんどう くにたけ) 氏

<略歴>

昭和17年1月1日生まれ
昭和44年 ソニー株式会社入社
昭和54年 ソニー・プルデンシャル生命保険株式会社(現ソニー生命保険株式会社)代表取締役常務
平成6年 ソニー株式会社取締役
平成12年 ソニー株式会社 代表取締役社長兼COO
平成17年 ソニーフィナンシャルホールディング株式会社 代表取締役会長
平成23年 ソニー生命保険株式会社 名誉会長
(株)TBグループ 特別顧問
(株)エムモビリティ 取締役会長

中島 義雄(なかじま よしお) 氏

<略歴>

昭和17年3月30日生
平成5年 大蔵省(現財務省)主計局次長
平成12年 京セラミタ(株)代表取締役専務
平成17年 船井電機(株)取締役執行役員副社長
平成21年 セーラー万年筆(株)代表取締役社長
平成29年 (財)日本価値協創機構特別顧問(現任)
(株)TBグループ 社外取締役

中澤 信雄(なかざわ のぶお) 氏

<略歴>

昭和19(1944)年8月7日生
1968年 4月 野村證券株式会社入社
1996年 6月 同社代表取締役専務(投資銀行兼国際金融)
1999年 6月 国際証券株式会社代表取締役社長
2002年 9月 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社代表取締役社長
2004年 6月 三菱UFJモルガン・スタンレー国際投信株式会社代表取締役会長
2006年 4月 事業創造大学院大学学長
2010年 6月 東京コーパス総合研究所代表取締役社長(現任)
(株)TBグループ 顧問

藤野 公孝(ふじの きみたか) 氏

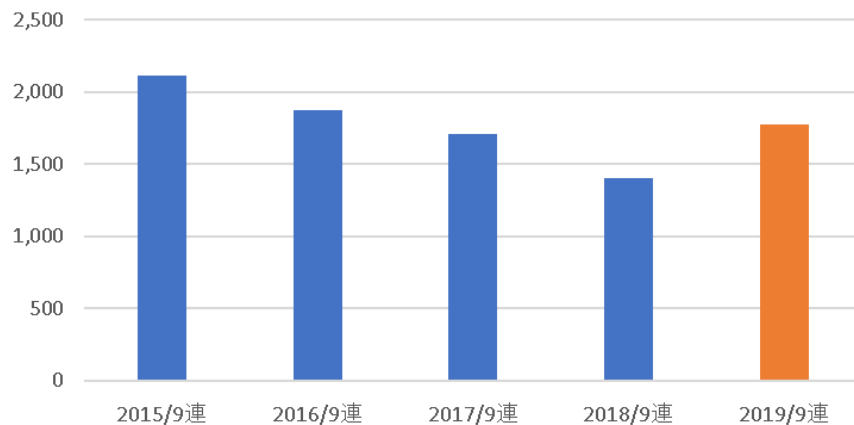
<略歴>

昭和23年5月29日広島県生
平成11年 運輸省運輸政策局観光部長
平成12年 大臣官房 総務審議官(退官)
平成15年 参議院議員
平成18年 国土交通大臣政務官
平成27年 (一社)全日本社寺観光連盟会長
平成29年 (一社)宿泊施設関連協会最高顧問
(株)Mビジュアル 顧問

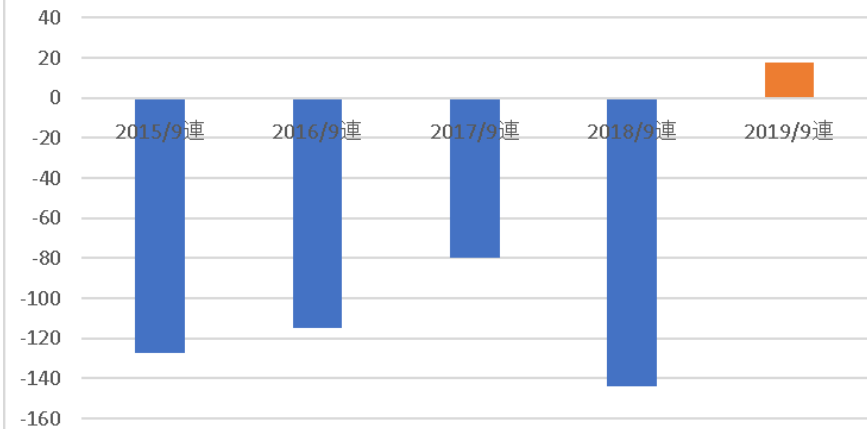
6. 今期中間業績実績

決算期	単位：百万円				
	2015/9連	2016/9連	2017/9連	2018/9連	2019/9連
売上高	2,111	1,872	1,709	1,404	1,775
営業利益	-127	-115	-80	-144	18
経常利益	-133	-114	-84	-151	5
当期利益	-133	-123	-148	-145	-11

売上高



営業利益

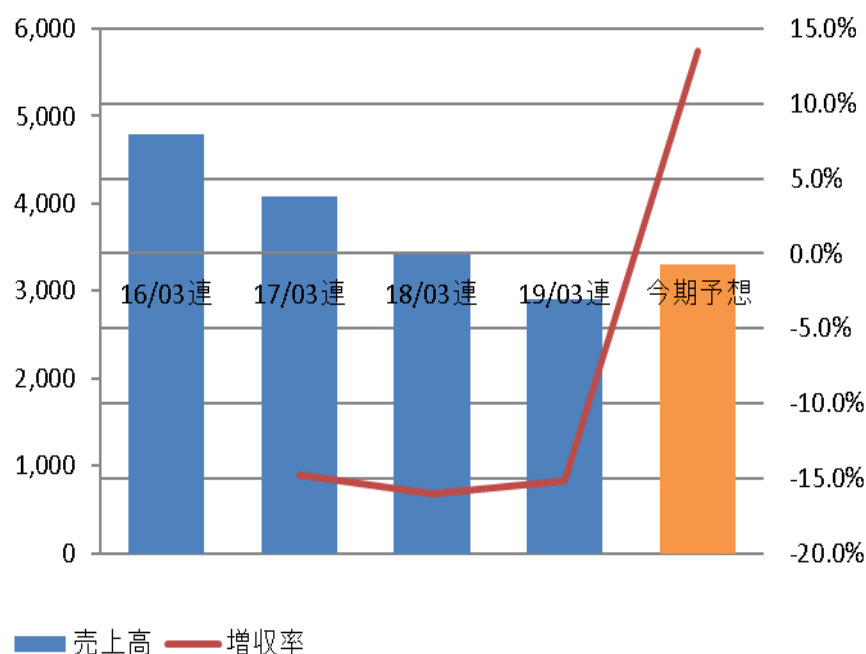


営業・経常黒字化を達成

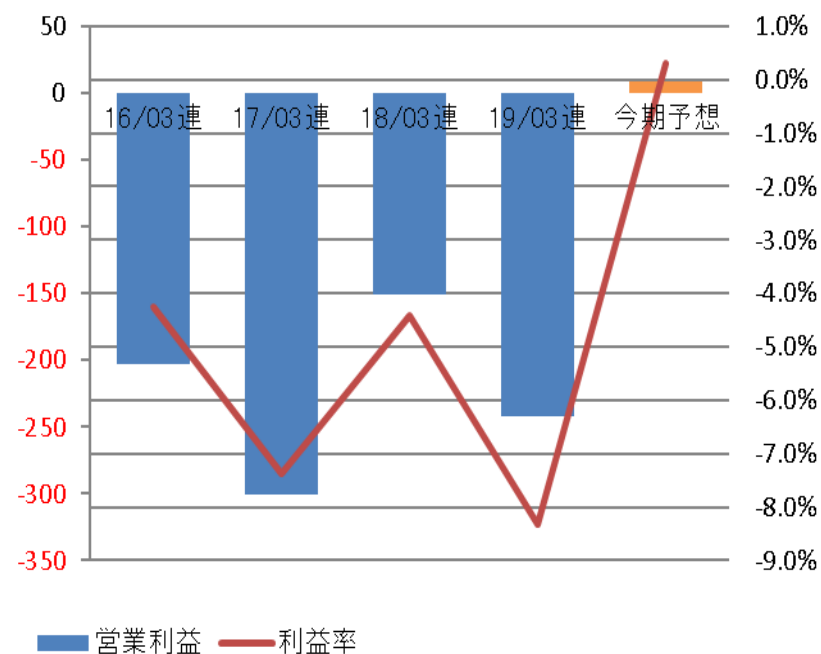
7. 今期業績予想

	売上高	増収率	営業利益	利益率	経常利益	利益率	利益	利益率	EPS
16/03連	4,788		-203	-4.2%	-256	-5.3%	-320	-6.7%	-37.00
17/03連	4,082	-14.7%	-301	-7.4%	-293	-7.2%	-317	-7.8%	-36.30
18/03連	3,428	-16.0%	-151	-4.4%	-158	-4.6%	-208	-6.1%	-23.90
19/03連	2,907	-15.2%	-242	-8.3%	-322	-11.1%	-316	-10.9%	-36.28
今期予想	3,300	13.5%	10	0.3%	10	0.3%	5	0.2%	0.57

売上高(百万円)・増収率推移



営業利益(百万円)・利益率推移



売上増収・利益黒字化を予想

8. 第2回CBと第1回新株予約権発行

第2回無担保新株予約権付社債2億円▽潜在株式数=64万3086株▽償還期限=2022年10月4日▽払込日=10月4日▽利率=0%▽発行価格=額面の100%▽割当先=プログレシブ・インテリジェンス投資事業有限責任組合▽行使期間=10月4日～2022年10月3日▽転換価格=311円

第1回新株予約権1万1941個▽潜在株式数=119万4100株▽発行価格=1個につき463円▽割当先=プログレシブ・インテリジェンス投資事業有限責任組合▽払込日=10月4日▽行使期間=10月4日～2022年10月3日▽行使価格=1株につき335円

a. 本新株予約権付社債による調達資金の具体的な使途及び支出予定時期

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 「デジタルサイネージ」高精細ビジョン、次世代型製品の企画・開発資金	50	2019年10月～2020年9月
② インバウンド関連事業機器開発資金及びマーケティング費用	100	2019年10月～2020年9月
③ 「スマートヘルスケア」分野におけるAI/IOT企画開発資金	50	2020年4月～2020年9月

b. 本新株予約権による調達資金の具体的な使途及び支出予定時期

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 「デジタルサイネージ」高精細ビジョン、次世代型製品の企画・開発資金	100	2020年1月～2022年9月
② インバウンド関連事業機器開発及びマーケティング費用	200	2020年1月～2022年9月
③ 「スマートヘルスケア」分野におけるAI/IOT企画開発資金	101	2020年4月～2022年9月

9. 下半期経営方針と成長戦略(決算短信抜粋)

＜下半期経営方針＞

ラグビー流での「ターンオーバー」(守りから攻め)の作戦を展開します。上半期の勢いを更に高め、下半期予算を上回ります。好評業績予測は軽減税率の反動の不確実もあり据え置きましたが、「ターンオーバー」で現状に適した攻めの事業計画の必達を目指します。セグメント別には以下の方針です。

＜LED&ECO事業＞

上半期、高精細フルカラービジョンを積極的に営業推進しインバウンドの誘客促進、スポーツ施設のスコアボード、駐車場施設の誘導システム等の中・大型商品の受注・納品が始まりました。今後は、高精細フルカラービジョンの推進、iサイネージ(多言語案内)によるインバウンド客の誘客促進、道の駅、神社仏閣、ホテルにおけるインバウンド向け情報サービス事業を推進し、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、DOOH(デジタル アウトオブ ホーム)メディアのNEWステージを作り、LEDビジョン及びiサイネージの特需期間とし増収増益を図ります。

＜SA機器事業＞

上半期は、国策による軽減税率対応レジの需要効果により大幅な増収増益となり、また本年6月に業務提携した株式会社USENより電子レジスターの大口受注を受け販売を行いました。今後は、キャッシュレス決済端末の補助政策をビッグチャンスと捉え、無人受付機等の開発を始めました。また有力企業との共創と協業を図り、現金とキャッシュレスシステムの間の商品(キャッシュハイブリッド)市場を捉えます。

＜新規事業＞

- ①まゆ玉事業は、ショールームと運営ノウハウ修得を目的にした直営ホテルを2019年4月に開業し、宿泊者から高い評価を得ています。また、ラグビーワールドカップ効果によるインバウンド顧客の増加により宿泊者数は増加しています。既にMAYUDAMA(株)を設立し、今後FC展開及び「ホテルINホテル」ビジネスを生販一体で拡充強化し増収増益を図ります。
- ②観光分野
事業会社(株)Mビジュアルは、取引ホテル並びに新規の宿泊施設(民泊及び神社仏閣の寺泊)をターゲットにしてスマテレ、デリバリーロボット、医療ツーリズムビジネスを推進していきます。
- ③健康分野
超高齢化社会の本格到来により、予防医学／健診システムによる「早く見つけ早く治す」での長寿／長命のニーズが高まっています。関連会社の(株)ホスピタルネットの従来事業に加え、新規事業のスマートヘルスケアを始め、健診システム、AI診断、在宅ケア、医療ツーリズムをトータルソリューション化してNEWステージ事業の核としていきます。

10. DS(デジタルサイネージ)部門

■コア分野 店舗の最大のテーマは誘客効果→サイネージによる集客効果は絶大!

①フルカラー戦略 ②共通プラットフォーム化 ③新ルート・市場への商品提供(OEM等)

業界シェアNO.1の躍進!

【導入事例】



11. DS(デジタルサイネージ)部門

DOOH時代の成長戦略

■NEWステージ分野

①LEDビジョン(シースルービジョン等)／iサイネージ(多言語・防災等)のシステム群を展開

②2020年東京オリンピック／インバウンド／ネット広告の成長市場でコンテンツ・広告業界とのタイアップを図りDOOH(デジタルアウトオブホームメディア)のNEWステージを創り、収益源を多様化

③ネットワーク型サイネージの展開

【共創と協業】

- 5G基地局 & 災害検知街路灯
⇒スマート街路灯NEC社とのコラボ
- 駐車場システムとの連動
- 大手デジタルサイネージメーカー／チャネルとのネットワーク連携



5G基地局 & 街路灯
⇒スマート街路灯
(NEC社コラボ)

NEC



12. LEDメッセージボード最重要機種、遂に映像化！

市場対象1万台の総入替 & 新規獲得作戦！

■投入目的【勝ちパターン】

- ①最重要機種“エコリアシリーズ”の映像化により、市場設置機のリプレイスと新規顧客の獲得を図ります。

■製品づくり改革

- ①単色→フルカラー化
- ②24dot ⇒ 32dot
- ③バリューの追求

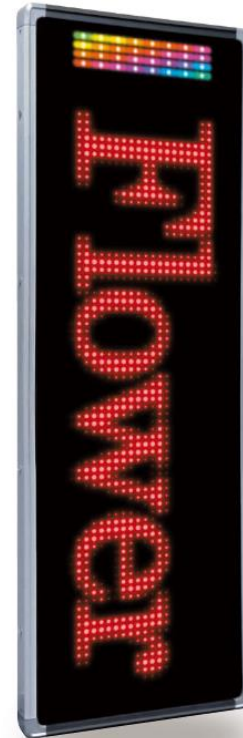
■ユーザーフレンドリーの追求

- ①スマホでコントロール
- ②リモコン使用可能
- ③薄型・軽量を実現

■ピクトグラム（インバウンド）対応

スーパー エコリア
Super EcoRea

今までは



令和時代の映像品質
クオリティ



これからは…



13. SA(ストア・オートメーション)部門

■コア分野

戦略: 市場の掘起しと新規獲得

- ① 軽減税率対策補助金の**特需継続**(12/16迄)
- ② **キャッシュレス**需要対応(りそな系列連携)
- ③ 新ルート: 道の駅・**高速道路施設**・**官公庁関連**、OEMビジネス案件等

USEN
USEN GROUP



14. SA(ストア・オートメーション)部門

■NEWステージ 省力化(セルフ)分野

戦略:省力化時代に対応

- ①ホテル無人チェックインシステム
- ②飲食店セルフシステム

SEIKO



15. SA(ストア・オートメーション)部門

株式会社USENとの業務提携



2019年6月14日

各位

会社名 株式会社TBグループ
代表者名 代表取締役会長兼社長 村田 三郎
(コード番号: 6775 東証第2部)
問合せ先 常務取締役経営管理本部長 信岡 孝一
電話番号 03-5684-2321 (代表)

株式会社USENとの業務提携に関するお知らせ

当社は、2019年6月14日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社USENとの間で、業務提携を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 業務提携の理由

レジスター大手及び店舗向けデジタルサイネージトップクラスの当社と全国62万店舗の加盟店を持つ株式会社USENは、中小企業・小規模事業者（とりわけ飲食業・サービス業）を中心とした店舗領域における労働生産性向上およびIT化促進を目指し、相互の業務支援ビジネスの連携、取り組み強化を図ることを目的とする。

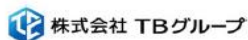
2. 業務提携の内容

- 当社は、これまでECRやPOSレジシステム、各種キャッシュドローアの製造・販売で培ってきた経験に基づき、タブレットPOSレジ市場をターゲットとした「キャッシュドローア」「プリンタ」をはじめとする周辺機器を幅広く展開してきました。

今回、Uレジシリーズのアプリケーションと当社の周辺機器が連携することで、低コストでありながら多機能なPOSレジパッケージを構築することができ、本Uレジシリーズの販売によりサポート修理までを含むワンストップソリューションの提供を実現いたします。

- USENは、タブレットPOSのUレジシリーズを販売し低コストかつ多機能なPOSレジとして市場に広く認知されています。現在は低価格帯のECRも提供することでお客様との接点を創出し、Uレジシリーズの拡販につなげています。

今回、低価格帯ECRのUSENオリジナル機（OEM版）及び通信機能を搭載した次世代機の製造を、実績豊富なTBグループに委託することにより、POSレジ、ECRラインナップにおけるシナジー効果が期待できます。



- ①中小企業・小規模事業者を中心に店舗領域における労働生産性向上、およびIT化を促進する。
- ②相互の業務支援ビジネスの連携、取り組みを強化する。

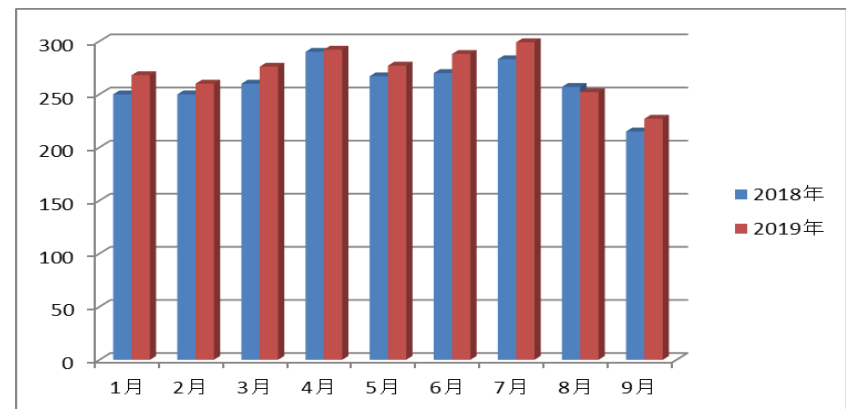
16. (株)Mビジュアルの成長戦略(インバウンド事業会社)

1) 設立	・平成13年10月1日
2) 資本金	・6000万円
3) 代表者	・代表取締役社長: 和田 鉄也 ・取締役: 村田 三郎 ・取締役: 清水 洋一郎 (元JTBコミュニケーションズ代表取締役)
4) 主要株主	・TBグループ(100%)
5) 事業内容	① インバウンド IPTV事業 ホテル向けIPTV “スマテレ” システム完成し1月よりホテル客室1000室 に設置 ② AIロボットサービス事業 ホテル向け“案内&デリバリーサービス” レストラン向けサービス開始 ③ インテリジェント タブレット事業 3000室で稼働中 ④ ハイスピードWifiサービス事業 ホテル向け高品質WifiサービスをJR 関連ホテルにて契約し稼働中 ⑤ 多言語音声ペン事業 TOTO&シチズンミュージアムで採用 ⑥ 多言語LEDサイネージのレンタル& ソリューション事業 大阪堂山町、中崎町、尼崎商店街で稼働

＜市況動向＞

本年上半期の訪日外国人、過去最高の
1663万人！！(対前年5%増)

国別にみると、中国が453万2500人(11.7%増)と最も多く、韓国の386万2700人(3.8%減)。台湾248万800人(1.0%減)、香港109万7900人(1.1%減)、米国の87万5200人(13.1%増)の順。韓国市場の減速は続いているものの、ラグビーワールドカップにより、欧米豪市場の訪日外客数が前年同月に比べ7万7千人増加。9月単月でも17市場(中国、台湾、タイ、州、米国、カナダなど。中国に次いで大きい韓国が半減し、中国の訪日市場に占めるシェアはほぼ4割にまで高まった。



2019年通年の訪日外国人は最新予測は**3,301万人**！2018年3119万人の6%アップで過去最高を記録予定。

16.1 インバウンド「スマテレ®」



従来のVODに代わる新ホテル客室テレビシステム

- スマテレには多様なアプリが搭載（アフィリエイト）
 - ・映画コンテンツ Hulu, U-NEXT, DMM（予定）
 - ・グルメ案内 ぐるナビ ・観光案内 JTB（予定）
- スクリーン・ミラーリングサービス機能付き
- オンラインショッピング “JAPAN TREND”
- 多言語対応 広告配信機能
- インフォメーション・メッセージ・アンケート機能付き
- ホテルスタッフ清掃管理支援機能

16.3 多言語音声ガイドペン



企業ミュージアム向けが多言語音声ペン導入！TOTOミュージアム（北九州）及びシチズンミュージアム（町田市）にて稼働開始。

16.2 ホテル向けAIロボットサービス



MDR-1

ロボットサービス事業を上海大学のベンチャー企業と共創し、多言語デリバリーボット（MDR-1）をホテル向けサービス事業を開始。多言語音声対話機能を持ち、施設案内サービスや客室への各種物品や飲食料などのデリバリーサービスを行う。デリバリー機能は46リットルと大容量の商品搬送能力がある。またカメラ搭載で画像認識可能で、見回り機能を有する。時速4Km程度で走行し、斜度10度の坂道登攀が可能で、12時間連続稼働できスマホで遠隔確認できる。

17. (株)ホスピタルネットの成長戦略(健康分野事業会社)

<会社概要>

1) 設立	平成10年10月1日
2) 資本金	5.49億円
3) 役員	・代表取締役会長: 村田 三郎 ・代表取締役社長: 武田 利信 ・取締役: 山崎 充彦 ・取締役: 安本 光治 ・取締役: 信岡孝一(新任)
4) 主要株主	・(株)TBグループ ・シダックスフードサービス(株) ・日本金銭機械(株)
5) 事業内容	病院をホテルのように快適に！を経営理念として展開している。 <TVカードシステム> ・プリペイド方式テレビカードシステム ・FeliCa ICカードシステム(HosCa) <院内コンシェルジュシステム> ・タブレット端末(HosPad) ・医療機関向け 外来呼び出しシステム ・健診システム ・ママ友チャンネル <IoTヘルスケア>



北里大学病院

新病院に受け継がれる
パイオニアの精神

■病床数: 1,033床

1971年の開院以来、高度な先端医療を持つ大規模医療機関として発展してきた北里大学病院は、2014年5月7日に新病院をオープンした。その際に「HosPad」が666台導入され、入院案内や手術・検査説明のコンテンツ、売店発注システム、アンケート機能等で新病院の運営に貢献している。旧病院から受け継がれる「患者中心の医療」「共に創り出す医療」を理念とし、50年後の医療のあり方を見据え「成長する病院」を目指し続ける北里大学病院より、今回は現場の事を一番理解されている看護部長に「HosPad」導入の経緯と効果について話を伺った。



患者中心の医療、共に創り出す医療

北里大学病院は、戦後最初に設立された私立大学病院である。当時はまだ医師が病院の中心であるという考えが一般的な時代であったが、そこで患者中心の病院を作りたいと志す人が全国より集まって設立されたのが、この北里大学病院。こうした背景を持つ北里大学病院では、全職員にチーム医療の意識が自然と浸透しており、セクション間の風通しも良く自由な意見交換が行われてきたそうです。

「以前から会議ではタブレットを使っていました。それを患者さんにも持っていただき、術前指導や各種情報の説明が出来たら良いという意見が出ていました。ご年配の方にも使いやすいのではないかと意見も出ており、HosPadの導入は早々に決定されました。」

ざっくりぼろんに切り出して下さった点からも、風通しの良さはセクション間だけではないと感じました。



美術館のような待合空間。ゆったりとした雰囲気の中で患者さんが寛いでいました。



入院された患者さんに人気の病棟ラウンジからは、素晴らしい景色が広がっている。

17. 1 健診システムの導入事例

株式会社ホスピタルネット 〒114-0033 東京都文京区本郷 3-26-6 NREG 本郷三丁目ビル 3F
TEL.03-5840-0877 FAX.03-5840-0677 <https://www.hpnet.co.jp/>



受診者ごとの検査予定や検査の説明などが1台の端末で確認できる



スタッフ側のシステム画面からは、現在の混雑状況をリアルタイムで表示

受診者ごとの検査予定や検査の説明などが1台の端末で確認できる

受診者ごとの検査予定や検査の説明などが1台の端末で確認できる



端末上に通知し空いている検査への誘導も可能

広範な機能を通じて待ち時間の解消や手間の軽減などを実現

入院患者や施設を支える数々のソリューションを提供

入院患者や施設を支える数々のソリューションを提供

クリニックサポーター：株式会社ホスピタルネット 健診誘導システム HosPad®

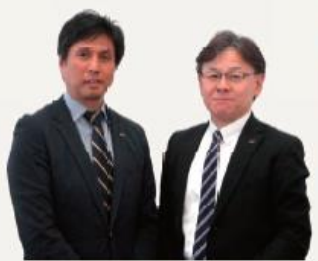
スマートな検査フローを実現する 健診誘導システムで 受診者・施設両方にメリット

2000年の創業以来、病院向けカード式テレビシステムやICカードソリューションといったサービスを展開してきた、株式会社ホスピタルネット。約4年前からはiPadに自社開発のアプリ・コンテンツを搭載した新サービス「HosPad®（ホスパッド）」の提供を開始。なかでも近年は、健診誘導システムに注目が集まっている。



「For You（あなた）に合わせた」をコンセプトに、病院向けに数々のソリューションを展開する、株式会社ホスピタルネット。入院病棟でなじみのカード式テレビシステムは、全国90万床で導入されているうちおよそ半数が、同社製というから驚きだ。また、ベッドサイドのシステムファニチャー、ICカード職員証など、多くの病棟周辺システムを手がける。

入院患者や施設を支える数々のソリューションを提供



武田利信（代表取締役社長）と松田賢一（システム営業部長）

18. MAYUDAMA(株)の成長戦略(まゆ玉事業会社)



<会社概要>

1) 設立	令和元年6月27日
2) 資本金	4,000万円
3) 役員	・代表取締役社長: 中野 義雄 ・常務取締役: 北村 佳英 ・取締役: 谷 正行 ・取締役: 布川 文保
4) 主要株主	・(株)TBグループ(100%)
5) 事業内容	<コアコンセプト> “また泊まりたくなる” 新しいコンパクトホテルスタイル! ・「Sleeping Box」まゆ玉の企画・製造・販売 ・ホテル運営省力化/集客システムの企画・開発 ・「まゆ玉キャビン」ホテルの直営店展開 ・「まゆ玉キャビン」ホテルのフランチャイズ展開 ・トレーラー型まゆ玉ホテル「まゆ箱」の企画・開発 ・人材不足に対応したコンサルティング

また泊まりたくなる
新しい宿泊のカタチ



すばらしい
クチコミ768件
ユーザーおすすめ
8.7



国・地域	予約の割合
全体の平均	
日本	62.92 %
台湾	6.44 %
イギリス	4.81 %
アメリカ	3.96 %
インド	3.88 %
オーストラリア	3.40 %
Masako 日本 投稿日: 2019年5月19日 カプセルホテルのイメージが変わりました。 ②・寝具、室内、設備の全てがキレイでした。 ました。 ③・特にありません 滞在日: 2019年5月	

18.1 まゆ玉 LCMH(ローコスト・マネジメント・ホテル)パッケージ、支援事業

①Sleepingbox®まゆ玉®の販売事業

ホテル・空きテナントを
活用したまゆ玉の販売。



②遊休地へのトレーラー/コンテナ型販売事業

繭箱

市街化調整区域
・離島・駐車場等 への
合法的なまゆ玉トレーラー
の販売。投資家の方へも!



③無人清算機によるLCMH支援事業

2018/6フロント無人化に
対応した無人フロント
チェックイン機の販売。

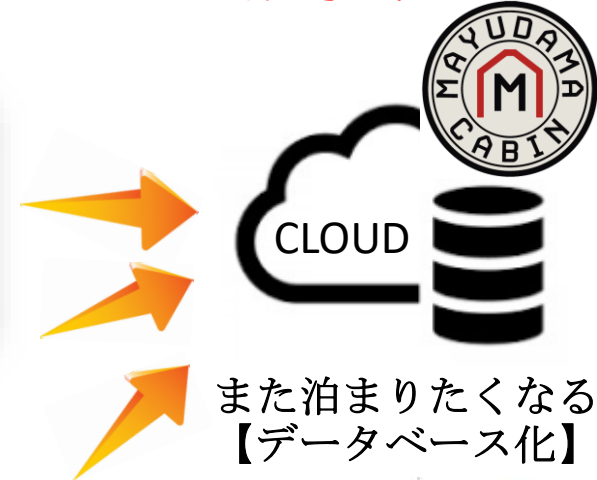


④人手不足に対応した人材支援事業

技能実習生/シルバーパワーを
活用した育成・紹介支援



⇒LCMHをコアコンピタンスとした
宿泊業界トータル支援事業へ



また泊まりたくなる
【データベース化】



◎運営受託コンサル

→各分野のスペシャリストの参画

→ファイナンス分野/コンサル分野/デザイン設計分野/運営業務分野

事業
拡大

A. 直営店舗展開

B. FC展開

18.2 まゆ玉 導入事例(ホテルinホテル®/コンテナホテル)

■ホテルinホテル®

導入事例

ファーストキューブ山口 様

ホテル インホテル

まゆ玉32BOX納入

First Cube Yamaguchi

ファーストキューブ山口

山口市初となるカプセルホテル。
サンルート国際ホテル山口内にある、使用率
が低下したホテルの宴会場をコンバージョンし、
まゆ玉32BOXを設置。客室とカプセルが融合
するホテルインホテルを実現しました。
客室と比較して安価に利用できるうえ、隣に包
まれたような安らぎの空間を演出します。



※ファーストキューブ山口様ホームページより抜粋

1階フロントを共有化することで、人件費を削減。また、宴会場の改装することによってカプセル水回り等の設備工事も簡素化できたことから、ホテルにかかるコストを大幅削減しました。

また、まゆ玉本体で大部分のフロアが隠れることから、内装コストを大幅削減致します。



before



after

クリアで快適な設備とサービス



after

■コンテナホテル

導入事例

Di MUSICA 河口湖 様

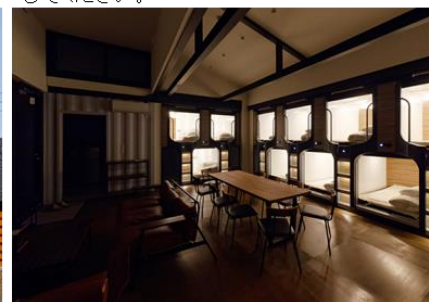
コンテナ型
コンセプトホテル

4月16日 OPEN!!

まゆ玉20BOX納入

COTTAGE:
Di MUSICA
PRODUCED BY g.a.c.

富士山の麓、河口湖にあるモダンな
コテージ&カフェ、Di Musica -ディ・ムジカ。
コンテナに住宅レベルの耐久性と居住性を追
加した、モダンなコテージです。
室内はコンパクトながら十分に寛げる、日常
から一歩離れた、穏やかなプライベート空間と
なっております。
喧騒を離れた音の無い空間。それも音楽のひ
とつです。そんな静けさを楽しみ、リフレッシュ
してください。



「暮らし=音楽」のように常に流れ行くものと考え、日常から少し離れた空間の少し流れの
違う音楽を過ごして欲しいという願いから、当施設を「Di MUSICA」と名付けました。
オペラ歌手でもあるオーナーと一緒に音楽に触れられる企画・制作も実施しています。



19. スマートヘルスケア

同封のフジサンケイビジネスアイ紙の対談記事(2019年11月19日号)を参照ください。



- 病院／介護施設向けにテレビ & IoT機器、AI家電などをシステム化して提供。
- 室内テレビのスマート化に加えてAI機能を持った製品の展開を予定。
見守り機能とあわせて、看護師／介護士の仕事量の大幅な削減を図る。
- 計測するバイタルデータに対するAIによるバイタルデータの数値分析など科学的な健康状態管理も構想中。

室内テレビのスマート化 (IPTV&AI対応)

- ① 各種コンテンツ／人気動画配信サービス
- ② AIスピーカーやテレビによる施設のインフォメーション提供
- ③ AIスピーカーによるアラーム・タイマー設定、
ニュース・天気予報など各種情報の取得
- ④ 音声でのテレビ、照明やカーテン開閉の制御
- ⑤ 音声でのAI家電(お掃除ロボット)の制御
- ⑥ 環境データ(温度、湿度、空気質、音、照度)による
家電の自動運転
- ⑦ リアルタイム見守り機能(バイタルデータや体動の監視)
- ⑧ テレビ電話(遠隔診療にも使用)
- ⑨ eコマース(スマホ決済機能)
- ⑩ ランドリーの使用状況をリアルタイムに通知 ※介護施設向